

## References

- 1) Nilsson, S. 1962. Sv. Bot. Tidskr. 56: 351-361. 2) Alasoadura, S. O. 1968. Trans. Brit. mycol. Soc. 51: 535-540. 3) Miura, K. & M. Y. Kudo (in preparation). 4) Hughes, S. J. 1951. Mycol. Pap. No. 45. 5) Marvanová, L. & P. Marvan 1969. Česká Mykol. 23: 135-140. 6) Nilsson, S. 1964. Symb. Bot. Upsal. 18(2): 1-130. 7) Van Zinderen-Bakker, E. M. 1934. Ann. Myc. 32: 101-104. 8) Tubaki, K. 1963. Trans. Mycol. Soc. Jap. 4: 83-90. 9) Butler, E. E. & A. H. McCain 1968. Mycologia 60: 955-959. 10) Hennebert, G. L. 1963. Canad. Journ. Bot. 41: 1165-1169.

\* \* \* \*

次の 2 種の菌類を新種として記載・報告すると共に、*Pyramidospora* 属について若干の検討を加えた。1) *Pyramidospora fluminea* Miura et Kudo (水生菌, 不完全菌類), 2) *Pyramidospora ramificata* Miura (水生菌, 不完全菌類)。

□Chow Cheng: **Formosan Native Rhododendrons** 17.5×9.5 cm, 26 頁, 原色写真 16 図, 1970。園芸業者のカタログであるが, 台湾のツツジ・シャクナゲ類 17 種類の美事な原色写真に英語と日本語の解説がついている。現在, 台湾からは 18 種類知られているので, 殆どどの種類がのっている珍しい出版物である。1 新種がのせてあるが, これは *R. transalpinum* Ohwi と思う。台中市立德街 194, 周鎮蘭園。(山崎 敬)

○植物シルエットの簡単な作製法 (渡辺邦秋) Kuniaki WATANABE: A simple method of making plant silhouettes.

植物の葉や茎の形態を示す際に, 黒い影絵, すなわちシルエットが, しばしば用いられている。この方法によると, 複葉, 多鋸齒葉の葉縁, 托葉, 分枝の様子などを適確に示すことができ, 形態比較, 形態変異を正しく表現することに利用できる。

Manton, I. (1950) は, シダ植物の種間および種内の葉形の相違をこの方法で示したが, その後, シダ植物に限らず, 広く種分化の研究に, シルエットが用いられている。福田 (1968) は, ネガティブ写真から印画紙に焼付けしたものに墨入れし, これを減力することによって輪郭を表わす方法を報告している。この方法をシルエット作製に応用すると, 縮尺または拡大を自由に調整できて便利であるが, 少し煩雑なことはまぬがれえない。

筆者は, 葉や茎の分枝の様子をシルエットによって, もっと簡単に正確に表現する方法として, 複写用ネガポジ法を用いている。図は, この方法によって, ノヂギクの